

編集室にお寄せいただいた
資料と写真をもとに
5月から6月（春から夏）にかけて
行われている
各地の人形供養&感謝祭の
模様をご紹介します。

秋冬編は2020年1月号に掲載いたします。

各地の 人形供養 感謝祭

spring and summer
2018-19

①から⑨までは2019年の開催日順



① 人形供養祭

福寿寺（千葉県木更津市）

5月9日(木)に、南房総初夏の風物詩となっている第33回人形感謝祭を開催。県内外から、約4千体の古い人形類が寄せられた。参列者は約50人。供養の和太鼓演奏のあと、参列者による焼香、神子秀之住職の読経と、焚き上げが行われた。近くの長須賀幼稚園の園児約70人も見学に訪れた。勝忠男会長は「人形は子どもたちの厄を背負っている。ただの人形ではない」と語った。



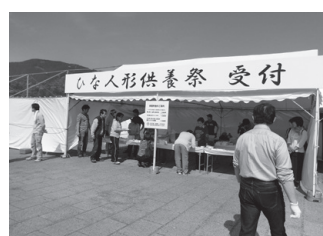
人形感謝祭

開催日・5月中旬の友引の日
開始年・昭和62年
主催・木更津ひな会
連絡先・(有)人形の勝
 TEL / 0438 (23) 3333
受付・当日参加できない場合は、感謝祭1カ月前から同会で受付
供養料・3千円から
対象・人形全般、ぬいぐるみ
その他・雨天決行
来年の開催日・5月中旬の友引の日

② 人形供養祭

安倍川親水公園（静岡県静岡市）

第60回供養祭が、5月12日(日)に行われた。集まった人形類は約4千800体で、約520世帯・約800人の参列者が参加。焼香のあと、僧侶による読経が行われ、厳かに供養が進められた。「不燃物は受け付けておりませんので、ガラスケース・飾り台は、地域の分別ゴミでお願いします」と主催者側は依頼している。



人形供養祭

開催日・5月第2日曜日
開始年・昭和35年ごろ
主催・静岡雛具人形協同組合
連絡先・同組合 TEL / 054 (204) 0324
受付・当日持参できない場合は、開催前に組合員各社が供養品を預かることも可。会場では当日受付のみ
供養料・市の45ℓ1袋で2千円。1袋増えるごとに+千円
対象・正・三・五月人形、日本人形、ぬいぐるみ *人形のみ受付。段・ガラスケース不可
その他・雨天決行
来年の開催日・5月10日(日)

③ 筑前人形感謝祭

曩祖(のうそ)八幡宮（福岡県飯塚市）

5月12日(日)、恒例神事である人形感謝祭を開催。家族に愛され大切にされてきた人形を飾り、神職による清祓の儀のあと、焼納された。事前の金・土曜日は飾った人形のライトアップを行い、最後の別れを楽しめるように演出。集まった人形類は7千200体で、参列者は約110人。「お預かりした人形は、責任を持って祭典を行い焼納いたします」と主催者。



筑前人形感謝祭

開催日・5月第2日曜日
開始年・平成7年
主催・曩祖八幡宮
連絡先・同上
 TEL / 0948 (22) 0511
受付・当日の午前9時から10時30分に会場で受付。他に3月から同社務所で受付(「焼却」か「寄贈」の希望を確認)
初穂料・任意(3千円以上)
対象・正・三・五月人形、節句品、ぬいぐるみ、置物 *ガラスケース・仏具は持ち込み不可
その他・雨天決行
来年の開催日・5月10日(日)

④ 人形供養祭

鏡川河畔みどりの広場・高知神社庁(高知県高知市)

5月15日(水)、第24回人形感謝祭を開催した。集まった約400体の人形に感謝と慰勞の念を込めた祝詞が奏上され、炉に火を入れ焼納し、参列者が玉串を捧げ、滞りなく神事が斎行された。終了後に寄付贈呈式が行われ、本年も児童養護施設「愛童園」に供養料が寄贈された。

「主に子育て世代の若手の神職が、心を込めてご奉仕しています」と主催者。



人形供養祭

開催日・5月中旬ごろ

開始年・平成8年

主催・高知県神道青年会

連絡先・同会

TEL / 088 (841) 2464

受付・前日に鏡川河畔みどりの広場で受付、翌日高知神社庁にて供養祭を実施

祈祷料・任意(目安として段ボール1箱2千円程度)

対象・正・三・五月人形、日本人形、西洋人形、ぬいぐるみなど *ケース・ガラス・プラスチックは外し、人形本体のみ

その他・雨天決行

来年の開催日・5月予定

⑤ こいのぼり感謝祭

不動ヶ岡不動尊總願寺(埼玉県加須市)

第17回目の感謝祭を、5月18日(土)に開催。

関東三大不動の一つに数えられる名刹、不動ヶ岡不動尊總願寺にて、祭壇に所狭しと飾られたこいのぼり・人形約2千500体を前に、15名の僧侶の読経による感謝祭法要が営まれた。参列者は約400人。地元の小中学生約30人による、武州祭囃子の奉納もおこなわれた。「地域の行事として認知されてきたと思う。すべての参加者に参列して頂きたい」と主催者。



こいのぼり感謝祭

開催日・5月第3土曜日

開始年・平成15年

主催・こいのぼり感謝祭実行委員会

連絡先・(有)原田光三商店

TEL / 0480 (61) 0313

受付・当日会場にて受付

供養料・一口3千円から

対象・正・三・五月人形、日本人形。*ぬいぐるみは不可。ガラスケースのガラスはできるだけ抜いてもらう。スチール製のひな段は不可

その他・雨天決行

来年の開催日・5月16日(土)

⑥ 人形祭

大阪天満宮(大阪府大阪市)

5月19日(日)に、第9回人形祭を行った。約370件の約3千体の人形が寄せられた。年々参列者が増加し、今年は昨年より2割多い約600人が祭典に参加。御霊の掛け軸の前に人形を飾り、その御霊を慰めた。

「私たちのために役立ってくれた人形たちに感謝し、真心を込めて大切に奉納いたします。ぜひ多くの方に知っていただき、参加をお願いしたい」と主催者は語った。



人形祭

開催日・5月中旬頃

開始年・平成23年

主催・関西節句人形工業協同組合

連絡先・(株)松よし人形 TEL

/ 06 (6722) 0161、(株)小町

人形 TEL / 06 (6349) 2076

受付・当日会場にて受付

初穂料・1件(15体程度)3千円

対象・正・三・五月人形、節句品、日本、人形、西洋人形、ぬいぐるみ、人形類すべて *ガラスケースは不可

その他・雨天決行

来年の開催日・5月中旬頃

⑦ いちはら人形感謝祭

龍善院（千葉県市原市）

いちほら人形感謝祭

開催日・5月～6月の日曜日
開始年・平成15年
主催・いちほら人形に感謝する会（龍善院内）
連絡先・同会
 TEL / 0436 (21) 1533
受付・当日持参。または感謝祭1週間前から協力店に持ち込む
供養料・3千円から
対象・正・三・五月人形、節句品、日本人形、ぬいぐるみ
 ＊ガラスケースは不可
その他・雨天決行
来年の開催日・5月～6月の日曜日



5月26日(日)に開催された感謝祭には、約1千800体の人形類が持ち込まれた。参加者は、約80～100人。この感謝祭は、供養を通じて子どもたちが人や物を思いやる気持ちを育んでいくことも、目的の一つとして実施している。

「関係者の皆さまに、深く感謝しております」と主催者。

⑧ 所沢人形供養祭

所澤神明社（埼玉県所沢市）

所沢人形供養祭

開催日・6月第1日曜日
開始年・昭和60年
主催・所沢人形協会
連絡先・所澤神社
 TEL / 04 (2922) 3919
受付・年間を通じて協会員各店と所澤神明社社務所で預かる
玉串料・目安として、ひな人形1体500円程度
対象・正・三・五月人形、日本人形、節句品、ぬいぐるみ、千羽鶴など祈願物 ＊ガラスケースは不可
その他・雨天決行
来年の開催日・6月7日(日)



第33回目となる今年は、6月2日(日)に開催。近隣の市町村にとどまらず関東一円から約8千体の人形類が収められ、約600人の参加者によって供養された。納められた人形は人形殿に奉斎し、心を込めて鎮魂する。また月次供養祭を斎行し、人形の御霊を「あがもの」遷霊。この供養祭で、一部の人形類と一緒に焚き上げられる。当日は「浦安の舞」の奉納も行われた。

⑨ 人形感謝祭

成願寺（愛媛県松山市）

人形感謝祭

開催日・毎年6月10日
開始年・昭和58年
主催・日本人形協会四国支部
受付・当日持参できない場合は加盟店各社が預かる
供養料・任意
対象・人形全般、ぬいぐるみ
 ＊人形本体のみで、道具類・ガラスケースは不可
その他・雨天決行
来年の開催日・6月10日(水)



6月10日(月)、第38回人形感謝祭を厳肅かつ盛大に行った。同支部では、毎年この日を「人形感謝の日」と制定。時期が近づくと、加盟店には多くの問い合わせが殺到する。当日は早朝から多くの人が次々に訪れ、思い出がたくさんつまった約2万体的人形に合掌し、別れを惜しんだ。「靈魂抜式」には大勢の参加者があり、谷川龍玄住職のほか数人の僧侶の熱のこもった詠歌が流れた。最後には「火入り式」が行われた。